

## 第2章 外国への関心

### 1 外国への関心

日本の高校生が、外国への関心についての7項目のうち、6項目の肯定率（「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合）は、4か国中最も低い。

外国への関心について、「私は外国へ旅行したい」「私は外国の文化や生活に興味がある」など7項目に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の4段階で尋ねた。

日本の高校生が、「私は外国へ旅行したい」「私は外国の文化や生活に興味がある」「私は外国の人と友だちになりたい」「私は外国の人と話をしてみたい」「私は外国の生活に憧れている」に、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、いずれも4か国中最も低い。「私は将来、外国で働いてみたい」も中国と並んで低い。

米中韓の高校生が、「私は外国へ旅行したい」「私は外国の文化や生活に興味がある」「私は外国の人と友だちになりたい」「私は外国の人と話をしてみたい」に、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合はいずれも約8割である。そのほかに、米国の高校生は、「私は外国語が好きだ」「私は将来、外国で働いてみたい」が4か国中最も高く、韓国の高校生は「私は外国の生活に憧れている」が高い（図2-1）。

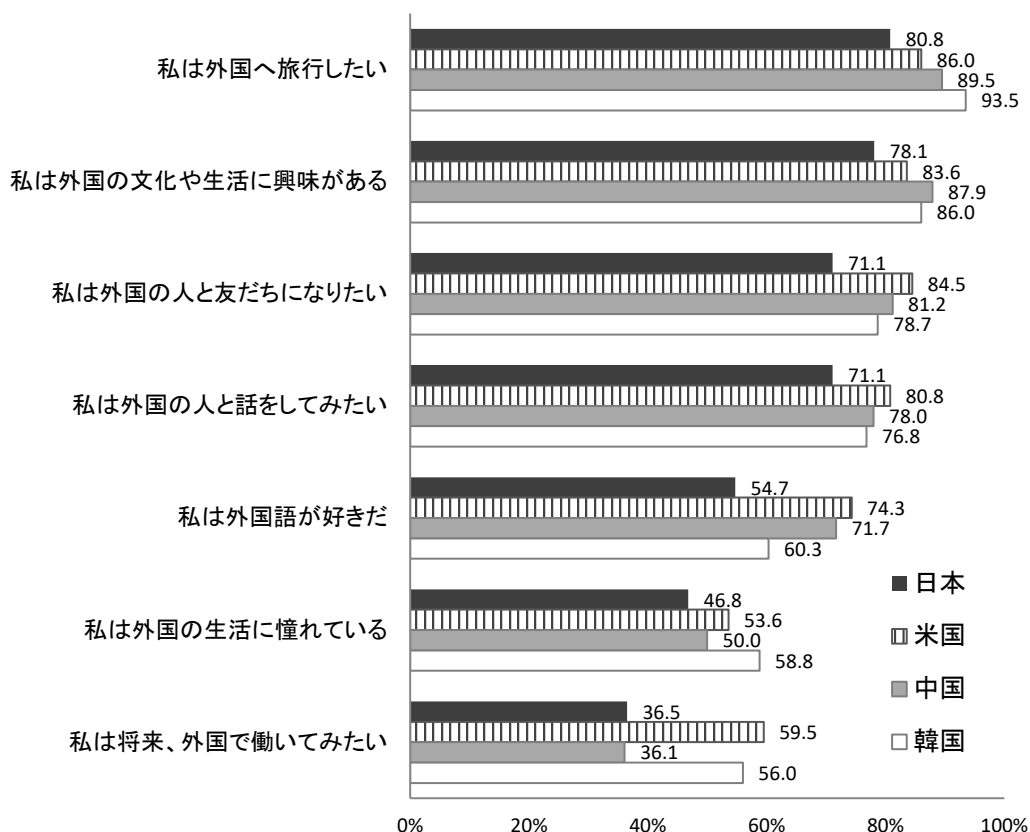


図2-1 外国への関心（「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合）

男女別に見てみると、日本では、「私は将来、外国で働いてみたい」に男女の差があまりなかったが、それ以外の6項目で、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は、男子より女子のほうが高い。米中韓では7項目とも男子より女子のほうの肯定率が高い（表2-1）。

表2-1 男女別外国への関心（「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合）

	日本		米国		中国		韓国	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
私は外国へ旅行したい	76.0	84.6	80.6	91.3	84.1	94.0	89.6	96.8
私は外国の文化や生活に興味がある	73.0	82.4	77.7	89.5	84.3	90.7	82.9	88.5
私は外国語が好きだ	51.0	57.9	66.1	82.3	65.8	76.4	56.9	63.0
私は外国の人と友だちになりたい	65.9	75.3	78.4	90.3	79.0	83.0	75.7	81.0
私は外国の人と話をしてみたい	66.6	74.9	73.7	87.6	75.6	80.0	73.9	79.3
私は将来、外国で働いてみたい	36.4	36.6	52.2	66.3	35.7	36.3	52.3	59.0
私は外国の生活に憧れている	41.4	51.4	49.0	58.1	47.0	52.4	54.5	62.1

## 2 外国へ行った経験

日本の高校生が、外国へ行った経験が「ある」と回答した割合は、米韓より低い。外国へ行った目的について、「観光」と回答した割合が最も高いものの、4か国中では最も低く、「修学旅行やイベントなどの参加」が米中韓に比べて高い。

日本と米国の高校生は、外国へ行ったことが「何回もある」「1、2回ある」と回答した割合がいずれも約5割である。韓国の高校生は、「何回もある」と回答した割合が26.6%と、4か国中最も高かった。中国の高校生は、「ない」と回答した割合が64.5%と、日米韓に比べて高かった（図2-2）。

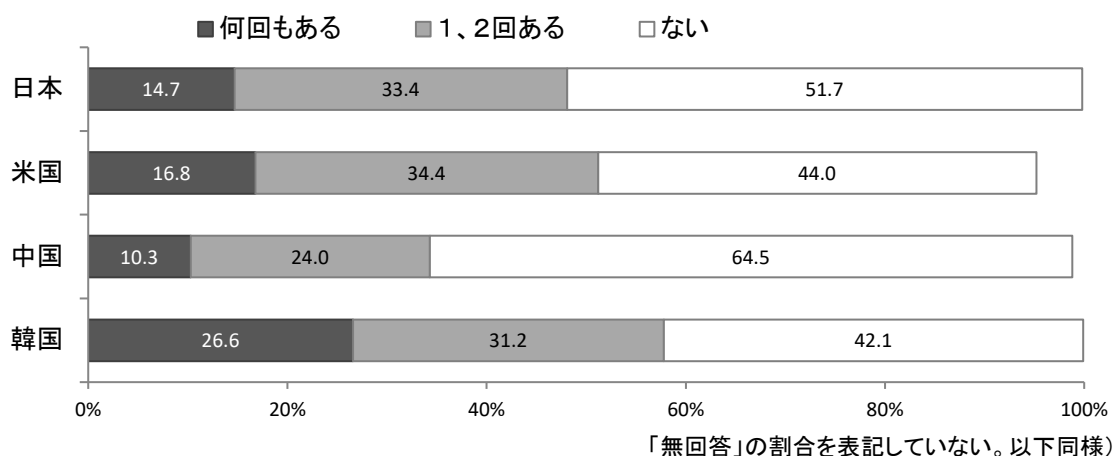


図2-2 外国へ行ったことがありますか

外国へ行った目的をみると、4か国とも「観光」と回答した割合が最も高く、特に中国と韓国では84%以上に達した。また、日本の高校生は、「修学旅行やイベントなどの参加」と回答した割合が5割を超え、4か国中最も高く、米国の高校生は、「親戚訪問」と回答した割合が3割を超え、日中韓を大きく上回っている（図2-3）。

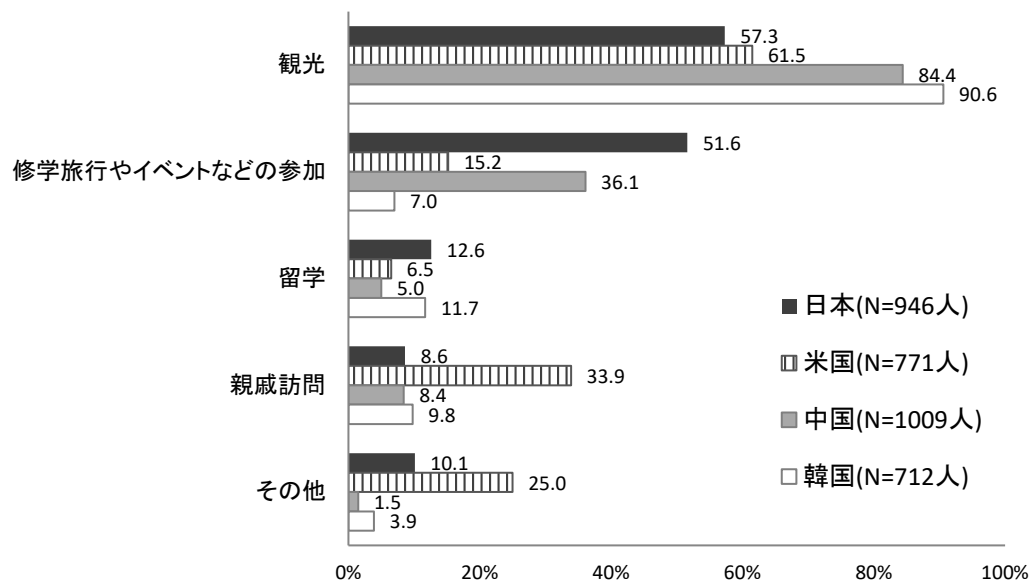


図2-3 外国へ行った目的は何ですか(複数回答)

(外国へ行ったことが「何回もある」「1、2回ある」と回答した者のみ)

初めて外国へ行った時期をみると、日本の高校生は、「小学校入学前」と回答した割合が最も高く、31.6%となっている。米国と韓国の高校生は、「小学生の頃」の割合が最も高く、それぞれ31.6%と38.9%となっている。中国の高校生は、「中学生の頃」が48.7%で、最も高かった（図2-4）。

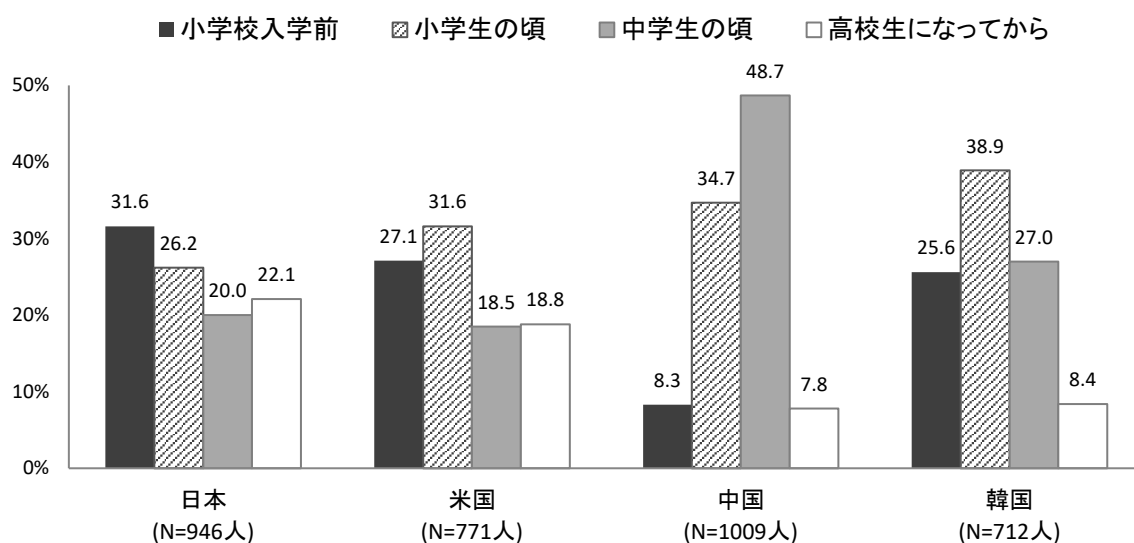


図2-4 初めて外国へ行ったのはいつ頃ですか

(外国へ行ったことが「何回もある」「1、2回ある」と回答した者のみ)

また、外国人との交流経験をみると、「面と向かって交流したことがある」と回答した割合は、米国の高校生が 79.3%で最も高く、次いで日本 75.3%、中国 63.2%、韓国 49.6%の順に高い。

「インターネットや手紙で交流したことがある」の割合は、米国が 28.7%と最も高く、日中韓は約 2 割となっている。「交流したことがない」と回答した割合は、韓国が 37.8%と、4 か国中最も高かった（図 2-5）。

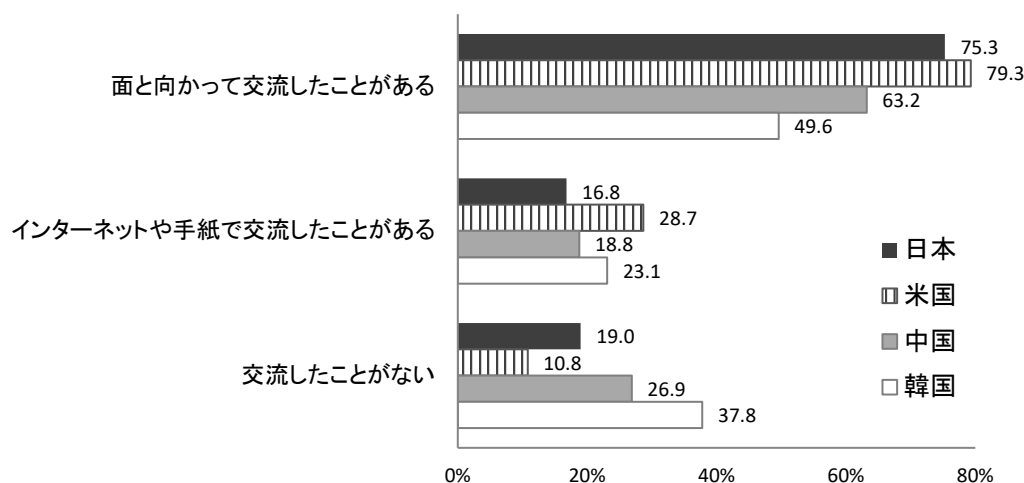


図 2-5 外国人と交流したことがありますか(複数回答)

### 3 外国へ行った経験と外国や留学への関心

外国へ行った経験の有無と外国への関心の関係をみると、4 か国とも外国へ行った経験が多いほど、「外国へ旅行したい」、「外国の文化や生活に興味がある」、「外国の人と友だちになりたい」、「外国の人と話をしてみたい」、「外国語が好きだ」、「将来、外国で働いてみたい」、「外国の生活に憧れている」といった項目の肯定率が高く、外国への関心が高い傾向がみられる（図 2-6～12）。

また、外国へ行った経験が多いほど、留学に対する興味が強く、留学する希望も高い傾向がみられる（図 2-13～14）。

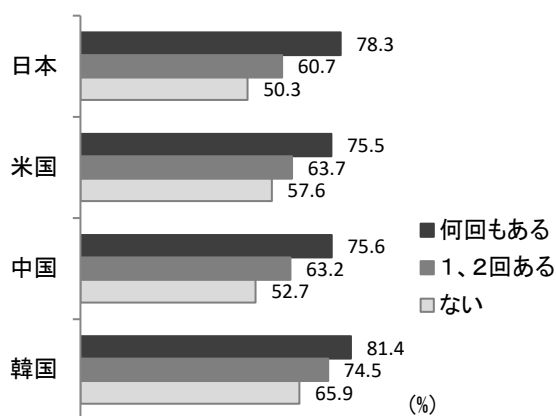


図 2-6 「外国へ行ったことがあるか」×「私は外国へ旅行したい」(「よくあてはまる」と回答した割合)

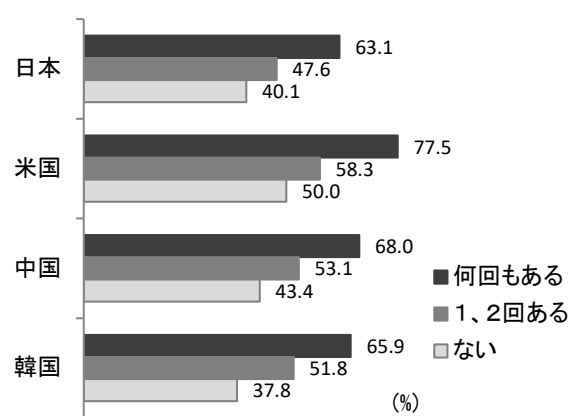


図 2-7 「外国へ行ったことがあるか」×「私は外国の文化や生活に興味がある」(「よくあてはまる」と回答した割合)

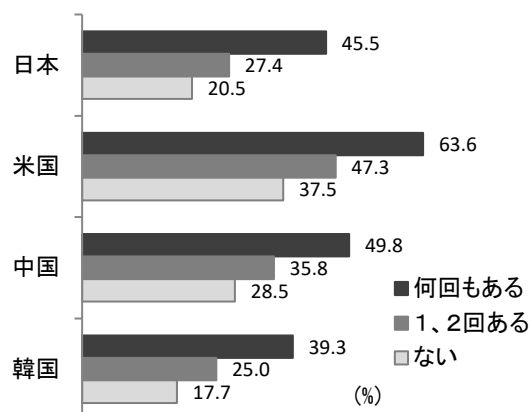


図 2-8 「外国へ行ったことがあるか」×「私は外国語が好きだ」(「よくあてはまる」と回答した割合)

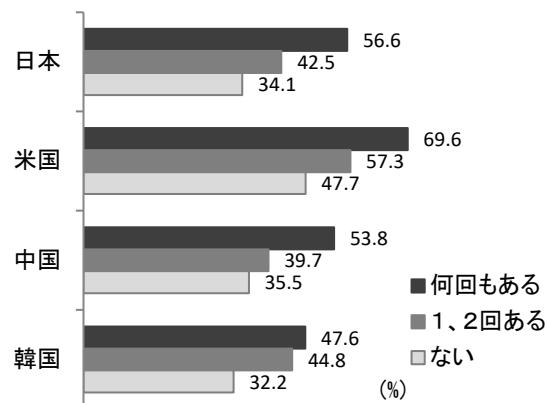


図 2-9 「外国へ行ったことがあるか」×「私は外国の人と友だちになりたい」(「よくあてはまる」と回答した割合)

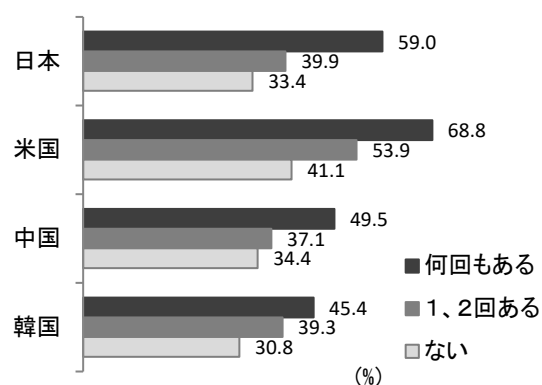


図 2-10 「外国へ行ったことがあるか」×「私は外国の人と話をしてみたい」(「よくあてはまる」と回答した割合)

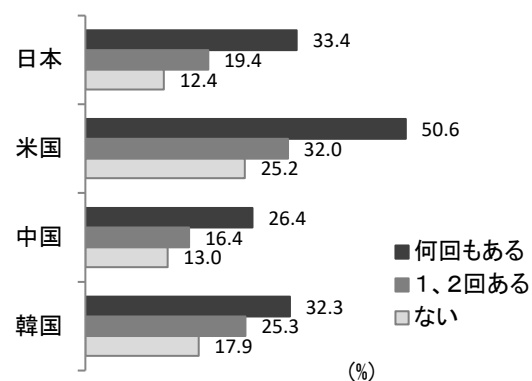


図 2-11 「外国へ行ったことがあるか」×「私は将来、外国で働いてみたい」(「よくあてはまる」と回答した割合)

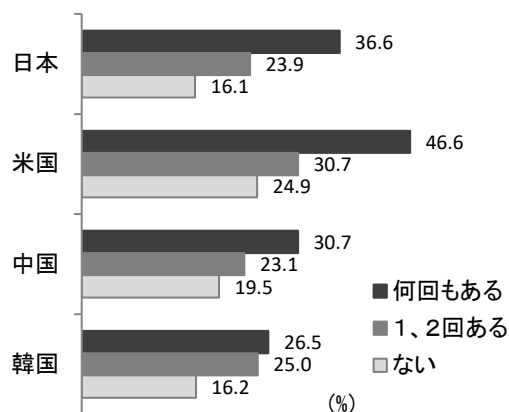


図 2-12 「外国へ行ったことがあるか」×「私は外国の生活に懂れている」(「よくあてはまる」と回答した割合)

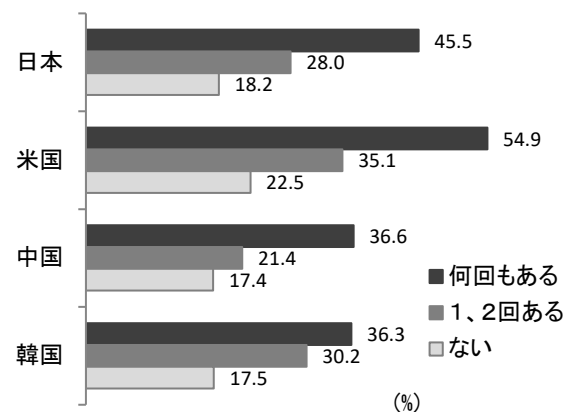


図 2-13 「外国へ行ったことがあるか」×「海外留学に興味があるか」(「興味がある」と回答した割合)

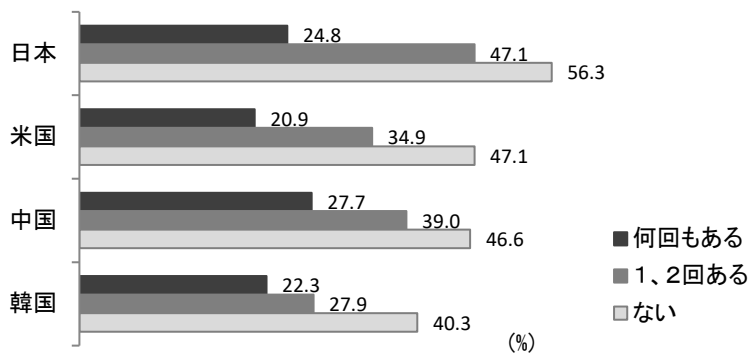


図 2-14 「外国へ行ったことがあるか」×「外国へ留学したいと思うか」  
 (「留学したいと思わない」と回答した割合)

#### 4 外国への関心と留学への興味や希望

外国への関心と留学への興味や希望の関係も見てみる。「外国へ旅行したい」「外国の文化や生活に興味がある」「外国の人と友だちになりたい」「外国の人と話をしてみたい」「外国語が好きだ」、「将来、外国で働いてみたい」「外国の生活に憧れている」といった外国への関心に関する項目に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した者を「肯定派」、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」と回答した者を「否定派」として、「海外留学に興味があるか」と「外国へ留学したいと思うか」の2項目とクロス集計を行った。外国への関心に関する7項目とも肯定的な回答をした者のほうが否定的な回答をした者よりも、留学への興味や希望が強い傾向がみられ、しかも4か国ともその差が大きかった(図2-15~28)。

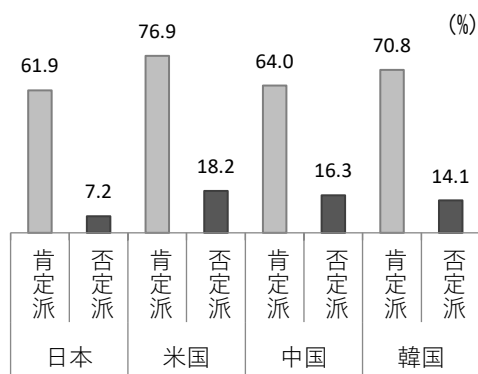


図 2-15 「外国へ旅行したいか」×「海外留学に興味があるか」(「とても興味がある」「まあ興味がある」と回答した割合)

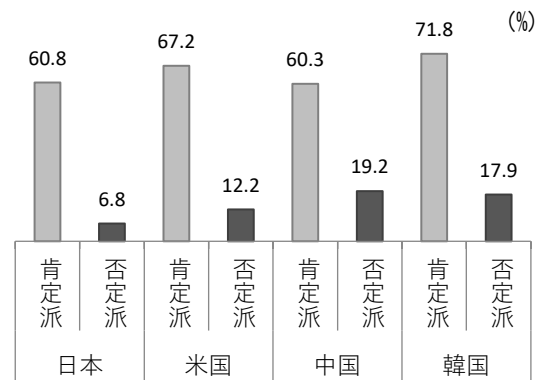


図 2-16 「外国へ旅行したいか」×「外国へ留学したいと思うか」(「留学したい」<sup>注</sup>と回答した割合)

注:「高校在学中に留学したい」「高校を卒業したら、すぐに留学したい」「大学在学中に、留学したい」「大学卒業後、留学したい」の合計。以下同様

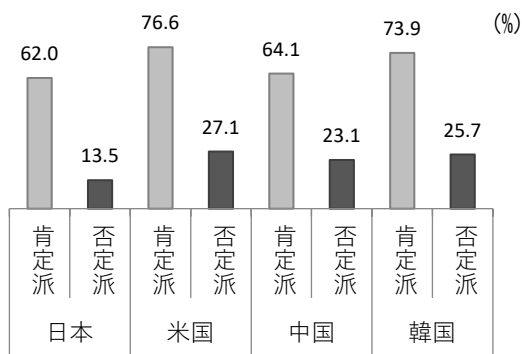


図 2-17 「外国の文化や生活に興味があるか」×「海外留学に興味があるか」(「とても興味がある」「まあ興味がある」と回答した割合)

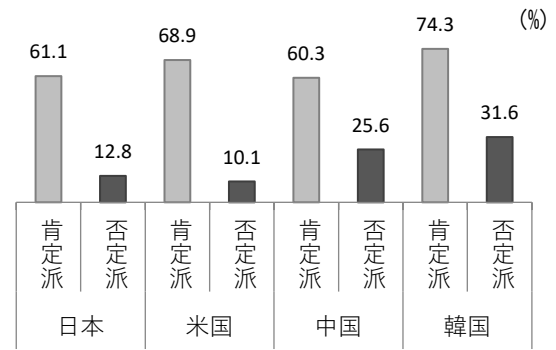


図 2-18 「外国の文化や生活に興味があるか」×「外国へ留学したいと思うか」(「留学したい」と回答した割合)

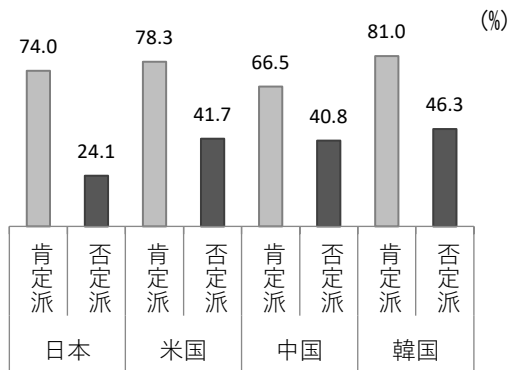


図 2-19 「外国語が好きか」×「海外留学に興味があるか」(「とても興味がある」「まあ興味がある」と回答した割合)

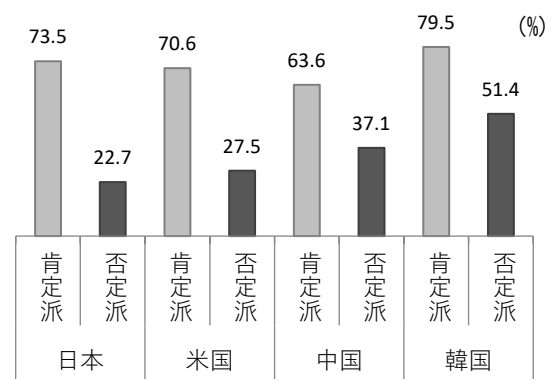


図 2-20 「外国語が好きか」×「外国へ留学したいと思うか」(「留学したい」と回答した割合)

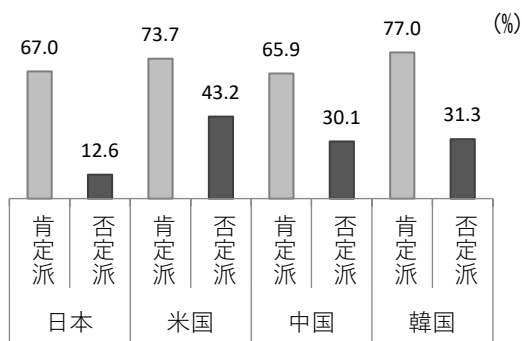


図 2-21 「外国の人と友だちになりたいか」×「海外留学に興味があるか」(「とても興味がある」「まあ興味がある」と回答した割合)

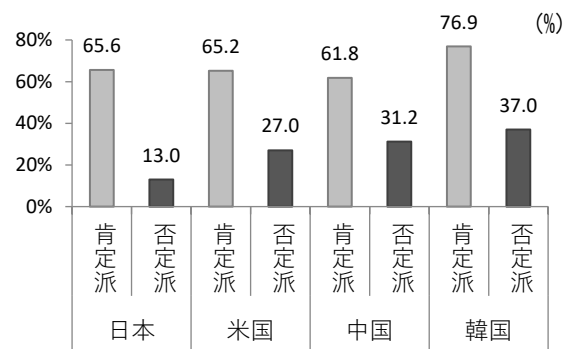


図 2-22 「外国の人と友だちになりたいか」×「外国へ留学したいと思うか」(「留学したい」と回答した割合)

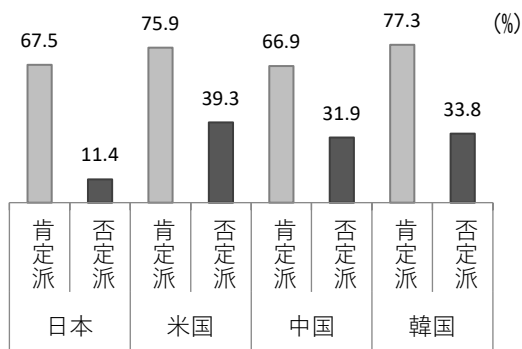


図 2-23 「外国の人と話をしてみたいか」×「海外留学に興味があるか」(「とても興味がある」「まあ興味がある」と回答した割合)

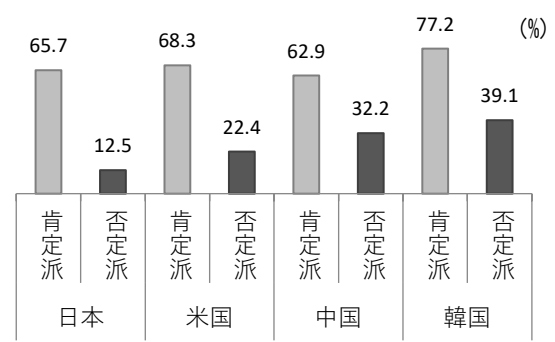


図 2-24 「外国の人と話をしてみたいか」×「外国へ留学したいと思うか」(「留学したい」と回答した割合)

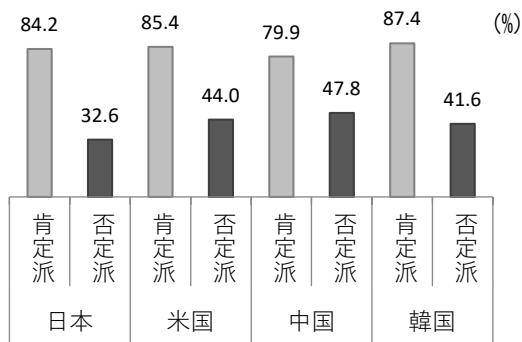


図 2-25 「将来、外国で働いてみたいか」×「海外留学に興味があるか」(「とても興味がある」「まあ興味がある」と回答した割合)

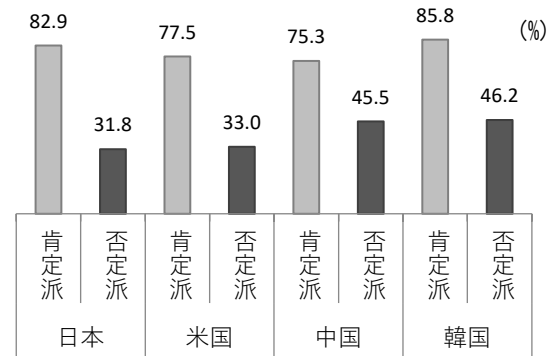


図 2-26 「将来、外国で働いてみたいか」×「外国へ留学したいと思うか」(「留学したい」と回答した割合)

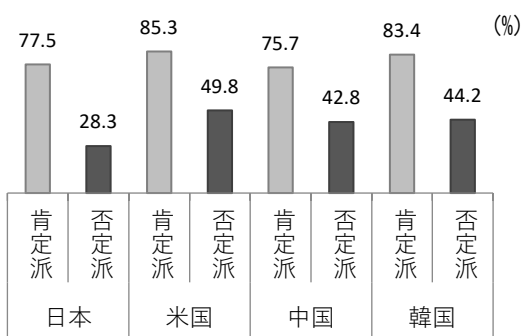


図 2-27 「外国の生活に憧れているか」×「海外留学に興味があるか」(「とても興味がある」「まあ興味がある」と回答した割合)

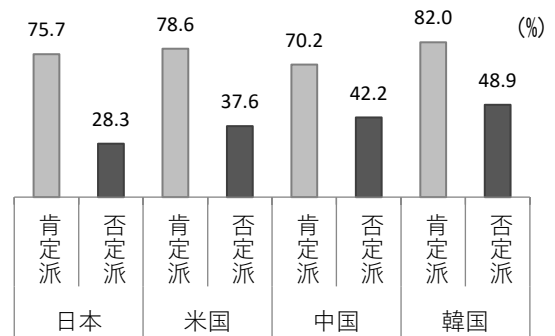


図 2-28 「外国の生活に憧れているか」×「外国へ留学したいと思うか」(「留学したい」と回答した割合)



## 5 日米中韓4か国への関心

日本の高校生は、米国への関心が高く、中国や韓国への関心が低い。一方、日本に関心があると回答した割合は、中国が最も高く、次いで韓国、米国の順となっている。

今回の調査では、日本、米国、中国、韓国の高校生に、他の3か国にどのくらい関心をもっているか、また、どのようなかわりやイメージをもっているかを尋ねている。

まず、それぞれの国への関心度を見てみる。日本に「とても関心がある」と回答した割合は、米中とも3割弱で、韓国は2割強である。「まあ関心がある」を合わせると、中国67.7%、韓国65.4%、米国58.9%の順となっている（図2-29）。

米国への関心が最も高いのは日本で、「とても関心がある」と回答した割合が4割強で、中韓と10ポイント以上の差が開いた。「まあ関心がある」を合わせると、日本は9割弱に達し、中国と韓国も約8割と高い（図2-30）。

中国に関心をもっている日米韓の高校生はいずれも半数に満たなかった。「とても関心がある」「まあ関心がある」と回答した割合は、日本42.6%、米国43.7%、韓国28.7%となっている（図2-31）。

韓国への関心が最も高いのは日本であり、最も低いのは米国である。「とても関心がある」「まあ関心がある」と回答した割合は、日本57.6%、中国42.6%、米国34.5%となっている（図2-32）。

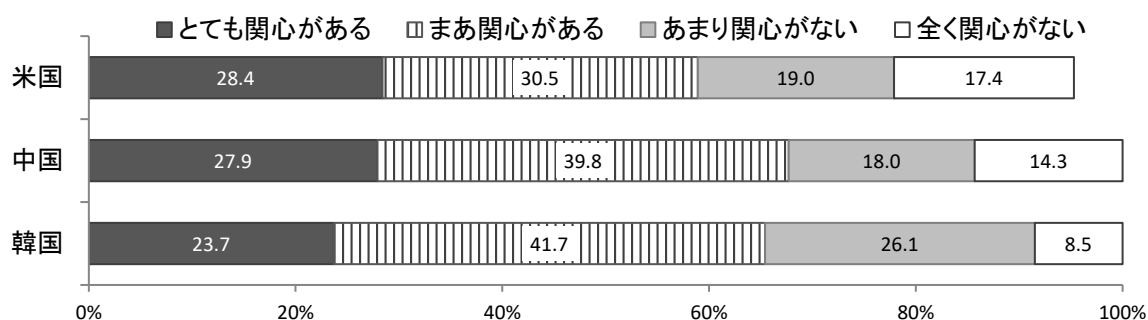


図 2-29 日本にどのくらい関心をもっているか

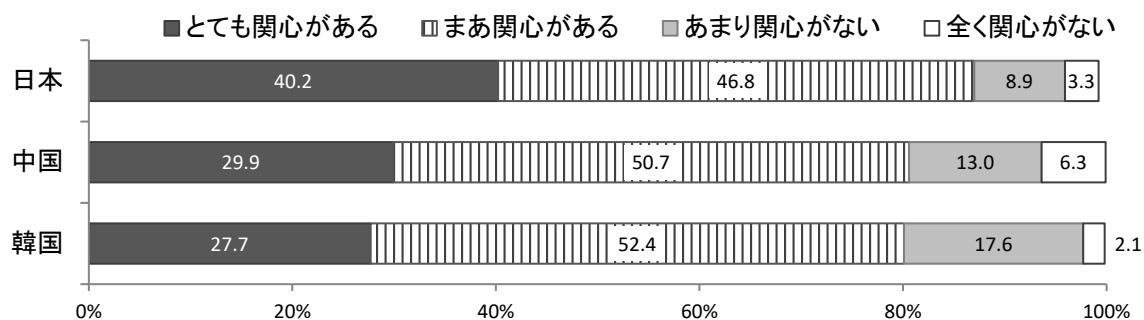


図 2-30 米国にどのくらい関心をもっているか

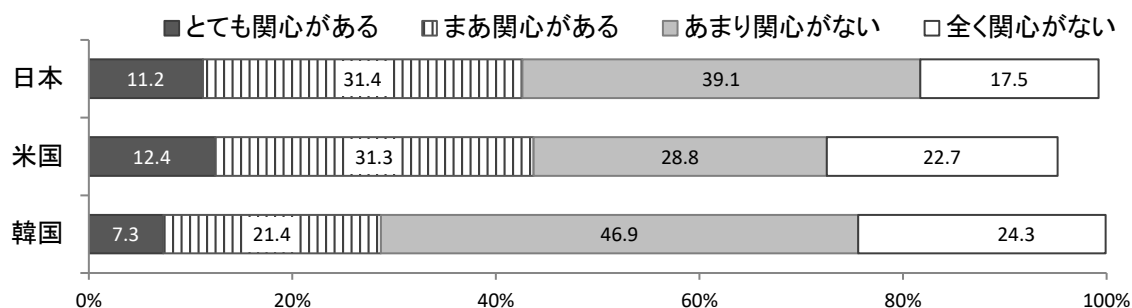


図 2-31 中国にどのくらい関心をもっているか

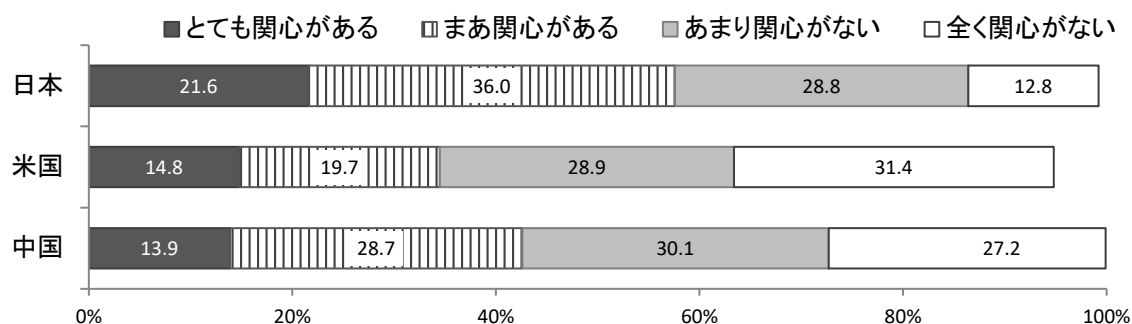


図 2-32 韓国にどのくらい関心をもっているか

## 6 日米中韓 4 か国とのかかわり

中国と韓国の高校生の 75%は、「日本の漫画やアニメを見る」と回答し、日本の高校生の 73%は、「米国の映画や音楽を見たり聞いたりする」と回答している。

米中韓 3 か国の高校生の日本へのかかわりを見てみると、中国の高校生は多くの項目で高い回答率を示している。「日本の漫画やアニメを見る」と回答した割合は 75.4%と最も高く、「日本の映画や音楽を見たり聞いたりする」は 57.9%で、韓国の 42.4%、米国の 19.5%と大きな差をみせた。そのほか、「日本のテレビ番組や新聞、雑誌、本を見る」(44.1%)、「日本のゲームをする」(34.2%)、「日本のウェブサイトを見る (22.8%)」も米韓に比べて高い。また、「日本の製品をもっている」も 55.5%で韓国に次いで高い。

韓国の高校生は、「日本の漫画やアニメを見る」と回答した割合が中国と同じく 75.4%と高い。「日本の製品をもっている」(69.2%)、「日本に行ったことがある」(32.0%)は米中を大きく上回っている。

米国の高校生は、「日本のことが好き」(42.2%)、「親たちは、日本が好き」(19.3%)と回答した割合が中韓に比べて高いが、「日本のテレビ番組や新聞、雑誌、本を見る」(22.7%)、「日本の映画や音楽を見たり聞いたりする」(19.5%)、「日本の漫画やアニメを見る」(25.3%)、「日本の製品をもっている」(27.0%)はいずれも中韓と比べて低い(図 2-33)。

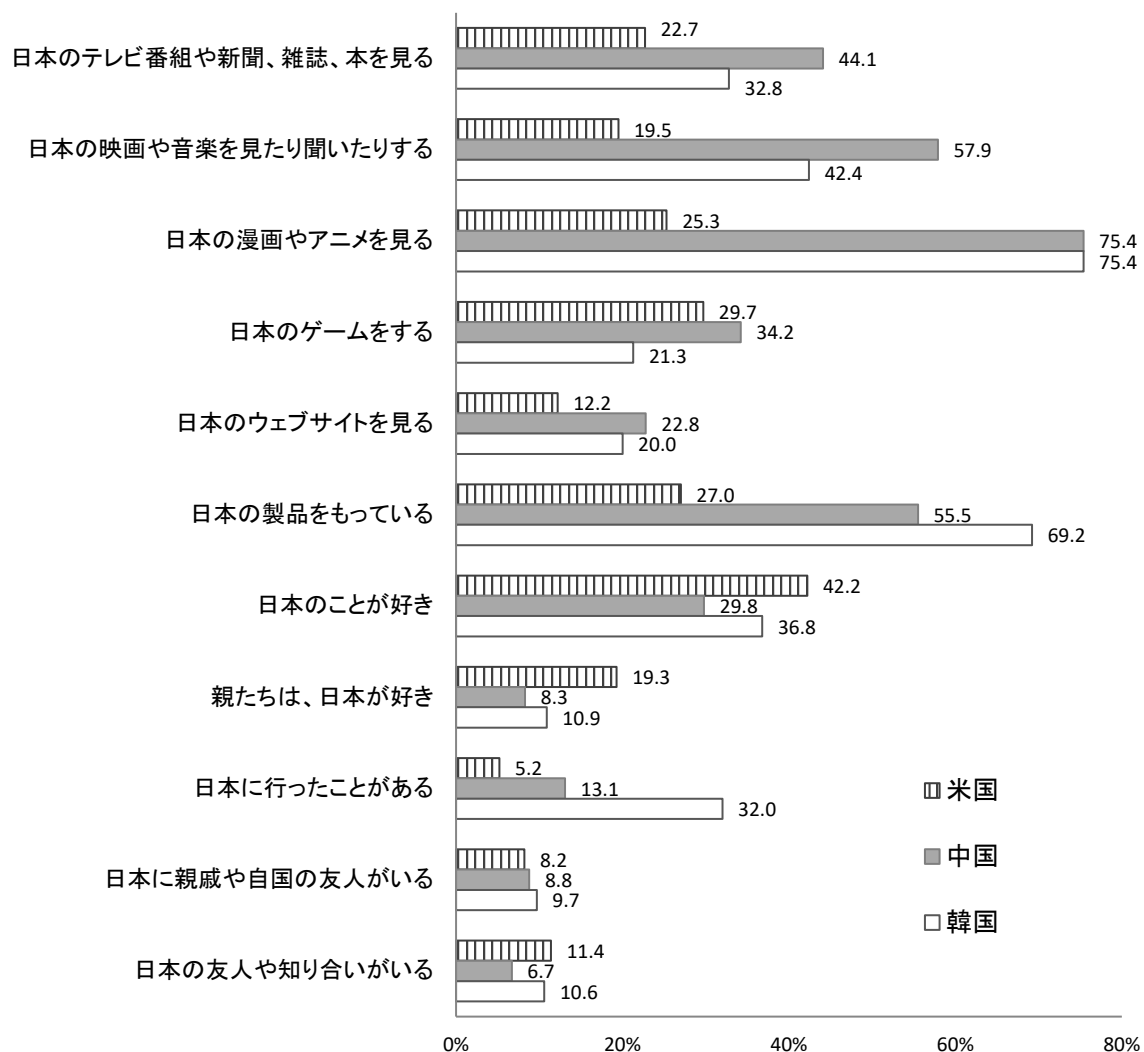


図 2-33 米中韓3か国の高校生の日本とのかかわり

一方、日本の高校生が米国や中国、韓国のことにどのくらいかかわっているかを見てみると、米国とのかかわりが中国と韓国よりはるかに多いことがわかる。「米国の映画や音楽を見たり聞いたりする」が7割を超え、「米国の製品をもっている」「米国のテレビ番組や新聞、雑誌、本を見る」も4割以上となっている。また、「米国のことが好き」と回答した割合は4割弱だった。これに対し、「韓国の製品をもっている」「韓国の映画や音楽を見たり聞いたりする」と回答した割合は3割台で、「韓国のことが好き」「韓国のテレビ番組や新聞、雑誌、本を見る」がいずれも2割強となっている。中国とのかかわりは少なく、「中国の製品をもっている」が6割弱と高いが、他の項目はすべて1割未満だった（図 2-34）。

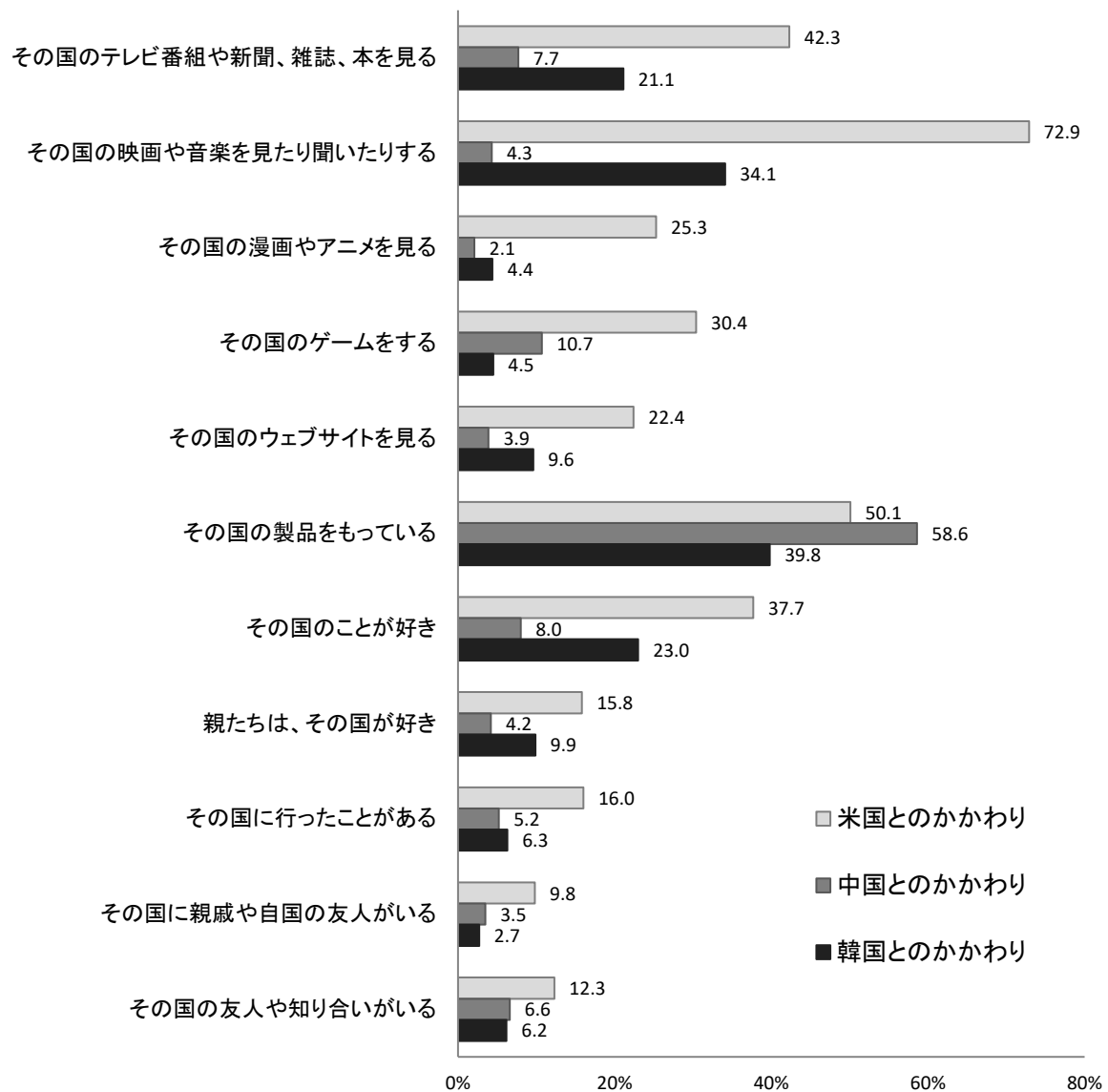


図 2-34 日本の高校生の米中韓3か国とのかかわり

## 7 日米中韓4か国のイメージ

日本人のイメージとして、米中の高校生が回答した割合が高いのは「礼儀正しい」「規則を守る」である。日本の高校生は、米国人のイメージとして、「ユーモアがある」「愛国心が強い」「創造性がある」、中国人のイメージとして、「自己中心的」「気性が激しい」と回答した割合が高い。

日本、米国、中国の高校生がそれぞれ日本人、米国人、中国人、韓国人にどのようなイメージをもっているかについて見てみる（韓国ではこの質問をしていない）。

まず、日本人のイメージについて、日本の高校生は、「礼儀正しい」と回答した割合が8割弱、「親切」「規則を守る」が約7割、「集団主義」「勤勉だ」が6割弱と高く、いずれも米国、中国の

高校生からの評価を大きく上回った。米国の高校生がもっている日本人のイメージとして、「勤勉だ」「創造性がある」「親切」「礼儀正しい」「規則を守る」と回答した割合は、いずれも約5割であり、「日本人のことはよく知らない」と回答した割合は4割弱である。また、中国の高校生も5割以上が「礼儀正しい」「規則を守る」と回答した。次いで、「集団主義」「勤勉だ」「創造性がある」「責任感が強い」の順で、いずれも3割台となっている（図2-35）。

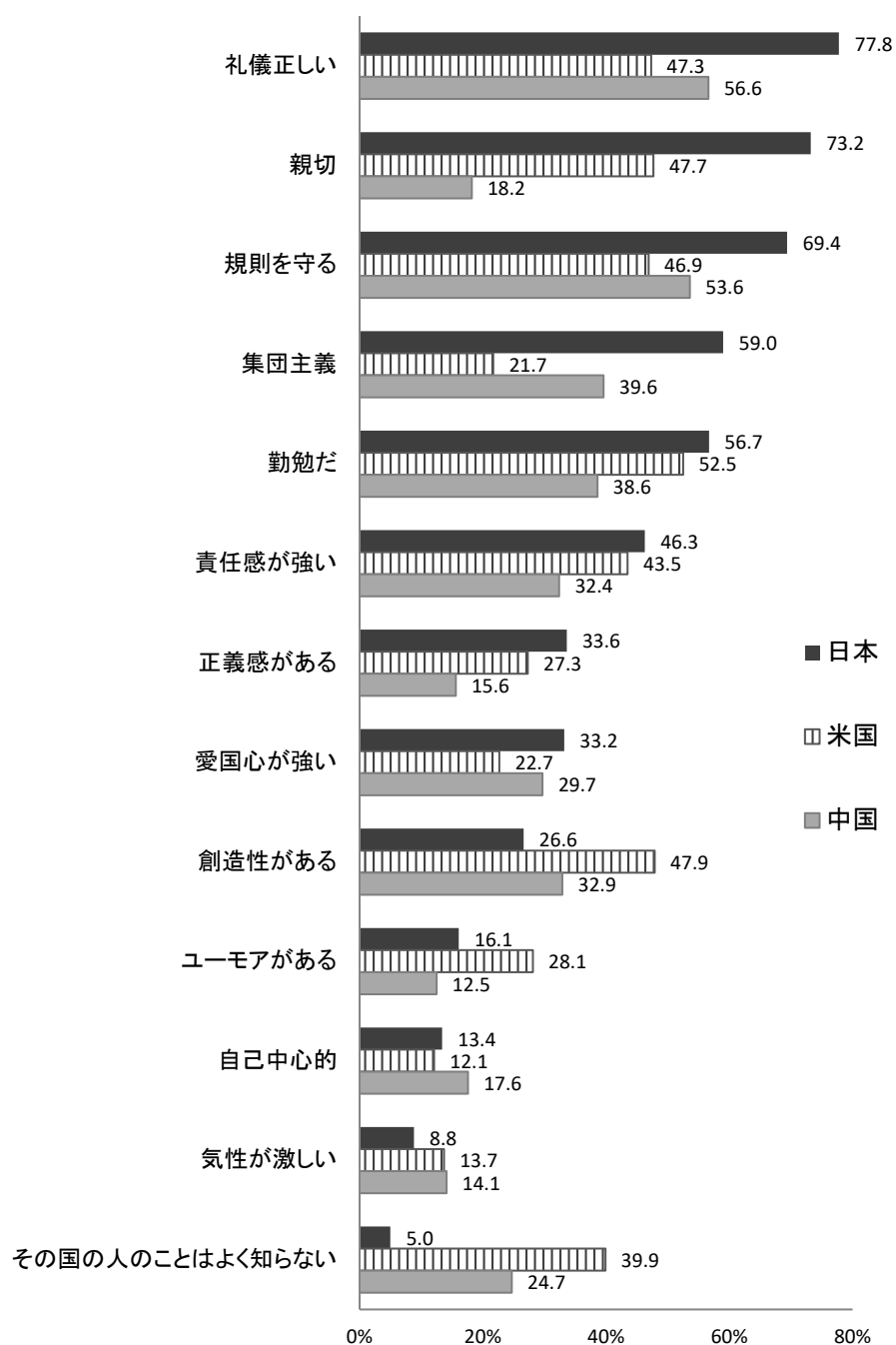


図2-35 日本、米国、中国の高校生がもっている日本人のイメージ

日本の高校生がもっている米国人のイメージとしては、「ユーモアがある」が7割強で、最も高い。次いで「愛国心が強い」「創造性がある」で6割弱となっている。そのほかに「正義感がある」

「自己中心的」「気性が激しい」が約4割となっている。また、日本の高校生がもっている中国人のイメージとしては、「自己中心的」「気性が激しい」と回答した割合が高く、いずれも5割を超えている。次いで「愛国心が強い」の4割強である。韓国人のイメージについて、日本の高校生の4割強は「愛国心が強い」と回答したが、他の項目の回答率がいずれも3割未満となっており、はっきりしたイメージをもっていないことがうかがえる。

一方、「中国人のことはよく知らない」「韓国人のことはよく知らない」と回答した日本の高校生はいずれも約4割と高い（図2-36）。

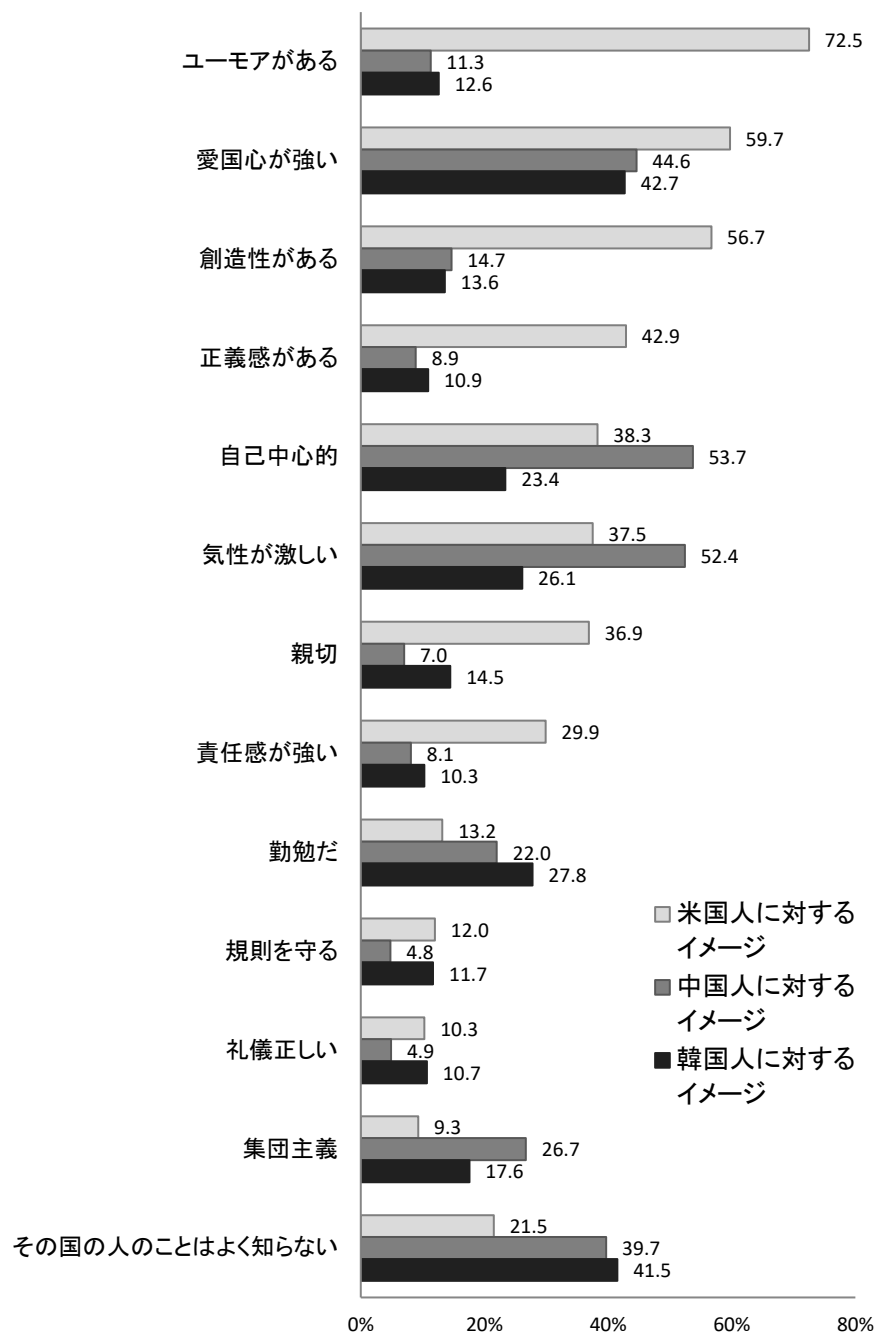


図2-36 日本の高校生がもっている米国人、中国人、韓国人のイメージ